

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	各利用者様の食事形態を重んじることにより、食を目で楽しむことへの配慮に至らなかったところがある。 このため、今後は食に対する楽しみを持っていただくような取り組みが必要と考える。	各利用者様の食事形態を重んじながら、食に対して楽しみを持っていただくような支援を行う。 また、食について利用者様が参加できる機会の創出に努める。	現在、食事の盛り付けの容器は、お弁当箱の容器を利用している。しかし、今後については、器による盛り付けをして、目でも楽しんでいただけるように行う。ただし、職員の人員の課題もあり、まずは昼食を中心に始めることとする。 また、食事の際のお茶出し・盛り付け・後片付け等についても、職員の配置状況や利用者様の心身状況を勘案しながら、導入を進めていくこととする。	6ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。